

若者の定着・回帰の促進に向けた県外進学者の県内企業への就職に係る実態調査

若者は、地域社会や産業の担い手となり、また、結婚を通じて次世代育成の役割も担う大切な人材である。このため、本県では、若者の定着・回帰の促進に向けて、令和2年度に県内大学生を対象とする「仕事・就業」への意識調査を実施し、令和3年度には、若者を雇用する側である県内事業所を対象に、採用状況や勤務環境等、大学新卒者の採用に係る実態についての調査を実施してきた。そして、令和4年度は、県内高等学校から高等教育機関に進学した者（以下「進学者」とし、このうち特に県外の高等教育機関に進学した者を「県外進学者」という。）の県内企業への就職に係る実態について以下のとおり調査を行った。

＜調査委託先＞ 株式会社フィデア情報総研山形支社

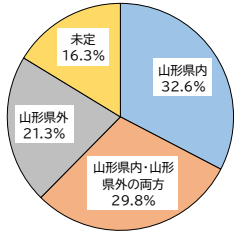
＜調査方法＞ 山形県電子申請サービス「やまがたe申請」を利用したオンラインアンケートを実施。また、アンケート回答内容の詳細について聞き取るため、回答者の一部を対象にオンラインインタビュー調査を実施。さらに、Uターン就職の際の状況や就職後の現状等について、県内企業に就職した県外進学者（入社後、概ね3年以内のいわゆる正社員、以下「県内就職者」とする）に対してもインタビュー調査を実施。

アンケート回答者数（進学者）：162（うち県外進学者141）、県外進学者インタビュー調査者数：6、県内就職者インタビュー調査数：6

県外進学者の県内企業への就職に係る実態調査 結果概要

1. 県内企業への就職やUターン意向について

○就職（起業）を考えている地域（n=141）



	県内・県外の両方	山形県外
回答者計	42	30
北海道	3	
宮城県(仙台市)	15	3
福島県	4	1
東北	2	
茨城県	2	
栃木県	1	
埼玉県	3	
千葉県	2	2
東京都	19	18
神奈川県	5	6
関東(東京圏、東京近辺)		5
新潟県	5	1
石川県	1	1
京都府	1	1
大阪府	1	
航空関係の職がある県	1	
海外	1	

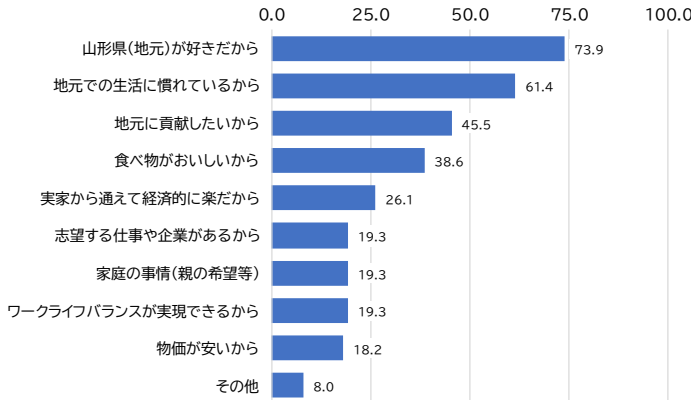
※複数回答のため、回答者数と回答の合計は合わない。

・就職（起業）を考えている地域について、県内を選択肢に入れて考える人の割合（「県内」と「県内・県外両方」を合算）は62.4%となっている。

・「山形県内・山形県外の両方」と回答した人について、山形県以外で考えている都道府県名は、東京都や宮城県が多く、このほか、神奈川県、新潟県、福島県などを挙げている。

・同じく、「山形県外」と回答した人は、東京都が多く、このほか、神奈川県、関東などを挙げている。

○山形県内での就職を希望する理由（n=88）



・山形県内での就職を希望する理由は、「山形県(地元)が好きだから」(73.9%)の割合が最も高く、次いで「地元での生活に慣れているから」(61.4%)、「地元で貢献したいから」(45.5%)などとなっている。

・一方、「志望する仕事や企業があるから」は19.3%で、地元への愛着や生活面、地域貢献が高く、仕事面は低い傾向がうかがわれる。

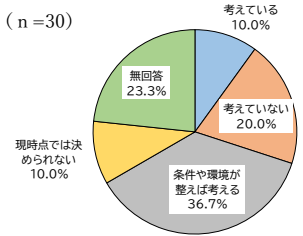
○山形県内へのUターンを希望しない理由（自由記載内容の趣旨）

回答の趣旨	件数
志望する業種・職種がない	12
希望する給与水準にない	5
自分が望む経験を積めない	4
街に活気がない、魅力や将来性を感じない	3
プライベートに関すること	3
交通の便が悪く、暮らしにくい	1
その他	2

・山形県内へのUターンを希望しない理由について、自由記載された内容の趣旨により、分析した結果として、県内には「志望する業種・職種がない」が多く、このほか、「希望する給与水準にない」、「自分が望む経験を積めない」などを挙げている。

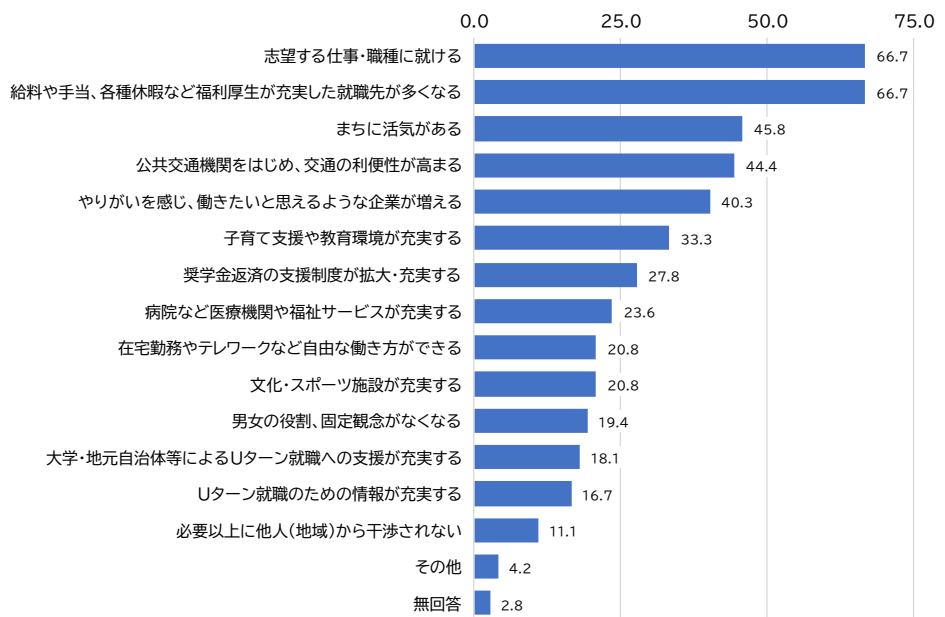
○将来的なUターン（対象：山形県外での就職を考えている方）（n=30）

・将来のUターン意向について、「条件や環境が整えば考える」(36.7%)の割合が最も高く、これに、「考えていない」(20.0%)が次いでいる。以下、「考えている」(10.0%)、「現時点では決められない」(10.0%)となっている。



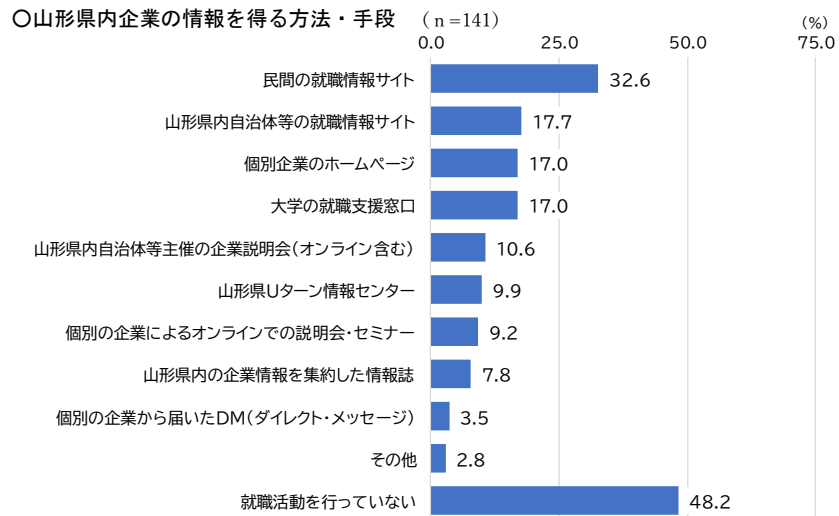
2. Uターンに必要な要件について

○山形県内へUターンするために必要な条件・環境（n=72）



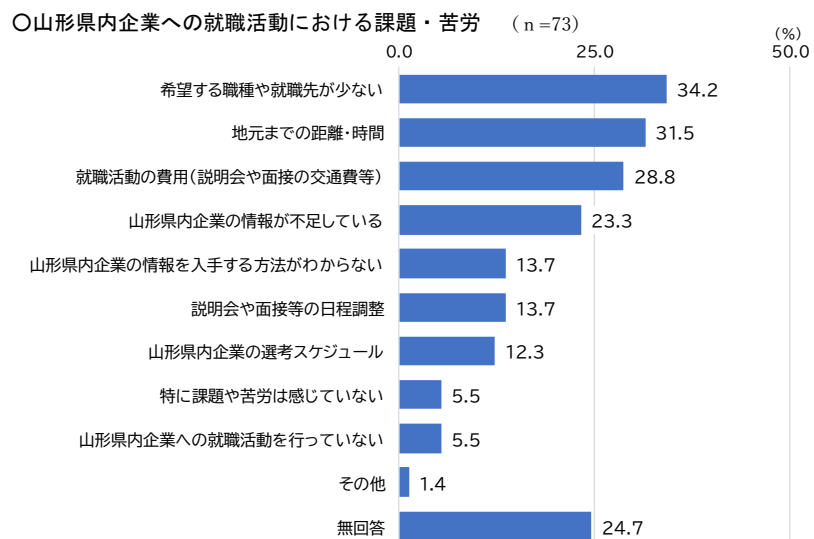
・Uターンするうえで必要だと考える条件や環境について、「志望する仕事・職種に就ける」と「給料や手当、各種休暇など福利厚生が充実した就職先が多くなる」が共に66.7%で最も高くなっている。次いで「まちに活気がある」(45.8%)、「公共交通機関をはじめ、交通の利便性が高まる」(44.4%)、「やりがいを感じ・働きたいと思えるような企業が増える」(40.3%)などとなっている。

3. 県内企業の情報を得る方法・手段



・山形県内企業の情報を得るための方法・手段について、「就職活動を行っていない」(48.2%)を除いてみると、「民間の就職情報サイト」(32.6%)の割合が最も高く、次いで「山形県内自治体等の就職情報サイト」(17.7%)、「個別企業のホームページ」(17.0%)、「大学の就職支援窓口」(17.0%)などとなっている。

4. 県内企業への就職活動における課題・苦勞



・山形県内企業への就職活動で課題や苦勞について、「希望する職種や就職先が少ない」(34.2%)の割合が最も高く、次いで「地元までの距離・時間」(31.5%)、「就職活動の費用(説明会や面接の交通費等)」(28.8%)、「山形県内企業の情報が不足している」(23.3%)などとなっている。

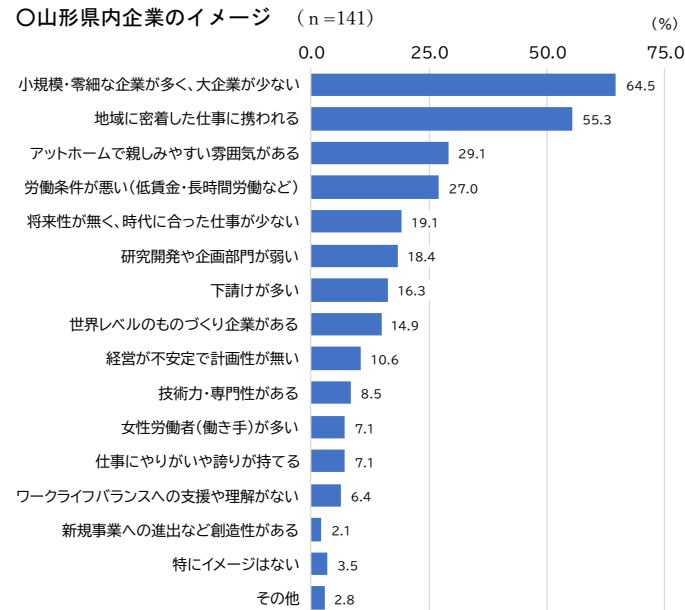
5. 必要としている情報

○必要としている情報

回答の趣旨	件数
企業の採用情報	24
うち福利厚生に関すること	(9)
県内企業の情報全般	22
うち職種に関する情報	(10)
情報発信の時期や手段、内容などに関すること	18
生活関連情報	12
インターンシップ・合同企業説明会・就活セミナーなどの情報	11
企業の実情等を知るための社員の話	11
奨学金など各種支援制度に関すること	10
企業の特徴・強みに関する情報	6
山形で就職することの利点	6
その他意見・要望など	5

・山形県内企業への就職やUターンなどを考えるうえで必要な情報について、求める人材像や、給与・福利厚生、転勤等の「企業の採用情報」のほか、どのような企業があるのかや、職種、経営概況など「県内企業の情報全般」、「情報発信の時期や手段、内容などに関すること」などを挙げている。

6. 県内企業に対するイメージについて



・山形県内企業のイメージについて、「小規模・零細な企業が多く、大企業が少ない」(64.5%)の割合が最も高く、次いで「地域に密着した仕事に携われる」(55.3%)、「アットホームで親しみやすい雰囲気がある」(29.1%)、「労働条件が悪い(低賃金・長時間労働など)」(27.0%)などとなっている。